

新型コロナウイルス院内感染終息 お知らせ

令和3年1月12日(火曜日)

東京足立病院において、昨年12月9日から患者さん38名、職員5名の計43名に新型コロナウイルス集団感染(クラスター)が発生し、患者さんやご家族をはじめ、関係する皆様には大変なご心配とご不便をおかけいたしました。おかげさまで、感染された患者さんは次第に快方に向かわれ、令和3年1月4日時点で在院されているすべての感染患者さんが国の判断基準に基づく回復と判断されました。保健所の指導による経過観察期間を終え、令和3年1月12日をもって新型コロナウイルス院内感染が終息しましたことを報告申し上げます。

当院におきましては、最初に職員の新型コロナウイルスのPCR陽性が判明して以降、保健所の指導のもと消毒と接触者の調査を行い、院内での感染拡大防止のためのゾーニングを行いました。陽性者との接触が認められた患者さんや職員につきましては、PCR検査および抗原検査と継続的健康観察を実施し兆候の早期発見に努めました。感染が確認された患者さんには、行政の指導と協力のもとで早期回復のため治療を行うとともに、より専門的医療機関への積極的な転院を図りました。

この度、コロナウイルス感染症で闘病された患者さんやご家族、感染対応によりご不便をおかけした入院患者さん、さらに感染患者さんを受け入れて頂いた医療機関、足立保健所、足立区、東京都をはじめ関係諸機関の方々に深く感謝を申し上げます。

当院では今後も引き続き病院職員一丸となって感染防止に努めて参ります。

何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人財団厚生協会 東京足立病院

院長 内山 真